



2023年3月期 第3四半期決算短信（日本基準）（連結）

2023年2月7日

上場会社名 不二サッシ株式会社
コード番号 5940 URL <https://www.fujisash.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経営管理部長
四半期報告書提出予定日 2023年2月7日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 吉田 勉
(氏名) 町田 仁

TEL 03-6867-0777

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	70,129	10.6	△2,093	—	△2,025	—	△2,321	—
2022年3月期第3四半期	63,392	—	△1,156	—	△959	—	△1,226	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 △2,211百万円 (—%) 2022年3月期第3四半期 △1,111百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	△18.40	—
2022年3月期第3四半期	△9.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	88,663	15,727	17.5	123.15
2022年3月期	83,315	18,065	21.5	141.77

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 15,540百万円 2022年3月期 17,889百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	99,000	9.5	△300	—	△230	—	△400	△3.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期3Q	126,267,824 株	2022年3月期	126,267,824 株
------------	---------------	----------	---------------

② 期末自己株式数

2023年3月期3Q	80,256 株	2022年3月期	79,154 株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期3Q	126,188,189 株	2022年3月期3Q	126,189,474 株
------------	---------------	------------	---------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月12日公表の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては本日（2023年2月7日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループ（当社及び連結子会社）の業績は、主力とするビルサッシを中心とした建材事業分野においては、新設住宅着工戸数は引き続きマンション等において増加傾向にあるものの、持ち家の減少が続くなど、依然として先行き不透明な状況となっております。また各事業分野において、原材料費、諸資材価格及び燃料費等の高騰が続いており、今後も厳しい事業環境が続くと見込まれます。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高701億2千9百万円（前年同四半期比10.6%増）、営業損失20億9千3百万円（前年同四半期は営業損失11億5千6百万円）、経常損失20億2千5百万円（前年同四半期は経常損失9億5千9百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失23億2千1百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失12億2千6百万円）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

〔建材事業〕

建材事業においては、ビル建材事業における期内売上工事の利益率良化やリニューアル事業に注力したことなどにより、売上高は502億6千2百万円（前年同四半期比11.4%増）と増収になりましたが、継続している諸資材価格の高騰などの影響を抑えきれずセグメント損失9億1千1百万円（前年同四半期はセグメント損失3億6百万円）と減益になりました。

〔形材外販事業〕

形材外販事業においては、アルミ地金市況に連動した販売単価上昇などにより、売上高は161億1千5百万円（前年同四半期比11.5%増）と増収になりましたが、継続している諸資材価格の高騰などの影響によりセグメント損失は5億5千5百万円（前年同四半期はセグメント損失3億6千1百万円）と減益になりました。

〔環境事業〕

環境事業においては、薬剤販売は持ち直しの傾向ですが、プラント部門では半導体などの需給逼迫による工期変更等の影響を受け、売上高は17億5千3百万円（前年同四半期比12.5%減）、セグメント利益は8千1百万円（前年同四半期はセグメント利益1億8千4百万円）と減収減益になりました。

〔物流事業〕

物流事業においては、建材関係の物量が堅調に推移したものの、燃料費等の高止まりによる影響などにより、売上高は18億1百万円（前年同四半期比11.1%増）の増収、セグメント利益については2億5千9百万円（前年同四半期はセグメント利益2億6千1百万円）の利益を確保しました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は541億6千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ47億3千9百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が13億4千6百万円、仕掛品が8億2千6百万円、電子記録債権が7億2千万円、原材料及び貯蔵品が6億7千2百万円、未収入金の増加等により流動資産その他が20億9千2百万円増加し、受取手形、売掛金及び契約資産が9億8千1百万円減少したことによるものであります。固定資産は344億9千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億7百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が5億1千8百万円、無形固定資産が5千1百万円増加したことによるものであります。この結果、総資産は886億6千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ53億4千7百万円増加いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は456億6千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ66億7千6百万円増加いたしました。これは主に電子記録債務が21億8千9百万円、契約負債が20億6千5百万円、支払手形及び買掛金が12億8千3百万円、短期借入金が11億4千万円増加したことによるものであります。固定負債は272億7千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億7百万円増加いたしました。これは主に社債が8億3千5百万円増加したことによるものであります。この結果、負債合計は729億3千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ76億8千4百万円増加いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は157億2千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億3千7百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が24億4千7百万円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は17.5%（前連結会計年度末は21.5%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月12日公表の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては本日（2023年2月7日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,523	15,869
受取手形、売掛金及び契約資産	20,501	19,520
電子記録債権	6,257	6,977
商品及び製品	1,277	1,358
仕掛品	1,817	2,644
原材料及び貯蔵品	4,086	4,758
販売用不動産	297	297
その他	1,368	3,460
貸倒引当金	△701	△719
流動資産合計	49,426	54,166
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	39,389	39,632
減価償却累計額及び減損損失累計額	△32,168	△32,734
建物及び構築物（純額）	7,220	6,898
機械装置及び運搬具	38,290	38,570
減価償却累計額及び減損損失累計額	△35,754	△35,777
機械装置及び運搬具（純額）	2,535	2,793
土地	13,328	13,330
リース資産	2,370	2,658
減価償却累計額	△1,175	△1,353
リース資産（純額）	1,195	1,304
建設仮勘定	183	615
その他	11,621	11,745
減価償却累計額及び減損損失累計額	△10,709	△10,793
その他（純額）	912	952
有形固定資産合計	25,376	25,895
無形固定資産		
のれん	187	152
その他	363	449
無形固定資産合計	550	602
投資その他の資産		
投資有価証券	2,865	2,935
長期貸付金	301	299
繰延税金資産	3,292	3,257
その他	2,379	2,376
貸倒引当金	△877	△870
投資その他の資産合計	7,962	7,999
固定資産合計	33,888	34,496
資産合計	83,315	88,663

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,073	15,357
電子記録債務	6,200	8,390
短期借入金	13,286	14,427
1年内償還予定の社債	70	165
リース債務	244	303
未払法人税等	229	182
契約負債	1,757	3,823
工事損失引当金	288	294
その他	2,833	2,717
流動負債合計	38,984	45,661
固定負債		
社債	3,445	4,280
長期借入金	5,666	5,745
リース債務	1,082	1,145
繰延税金負債	30	30
再評価に係る繰延税金負債	409	409
退職給付に係る負債	15,060	15,068
資産除去債務	271	271
その他	300	322
固定負債合計	26,265	27,273
負債合計	65,250	72,935
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,709	1,709
資本剰余金	816	816
利益剰余金	13,694	11,247
自己株式	△9	△9
株主資本合計	16,210	13,762
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	861	881
土地再評価差額金	1,635	1,635
為替換算調整勘定	△458	△473
退職給付に係る調整累計額	△359	△266
その他の包括利益累計額合計	1,678	1,777
非支配株主持分	175	187
純資産合計	18,065	15,727
負債純資産合計	83,315	88,663

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	63,392	70,129
売上原価	55,072	62,541
売上総利益	8,320	7,588
販売費及び一般管理費	9,476	9,681
営業損失(△)	△1,156	△2,093
営業外収益		
受取利息	13	13
受取配当金	95	104
受取賃貸料	63	65
持分法による投資利益	101	24
電力販売収益	113	109
雇用調整助成金	37	—
為替差益	38	72
その他	119	91
営業外収益合計	581	482
営業外費用		
支払利息	176	185
電力販売費用	104	104
支払手数料	69	44
その他	35	78
営業外費用合計	385	414
経常損失(△)	△959	△2,025
特別利益		
固定資産売却益	25	1
投資有価証券売却益	6	31
スクラップ売却益	42	—
特別利益合計	75	32
特別損失		
固定資産除却損	32	2
事業構造改善費用	192	—
減損損失	—	209
その他	0	2
特別損失合計	225	214
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,110	△2,207
法人税等	116	106
四半期純損失(△)	△1,227	△2,313
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	7
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,226	△2,321

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純損失（△）	△1,227	△2,313
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	19
為替換算調整勘定	△15	△11
退職給付に係る調整額	141	93
持分法適用会社に対する持分相当額	4	0
その他の包括利益合計	115	102
四半期包括利益	△1,111	△2,211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,115	△2,223
非支配株主に係る四半期包括利益	3	12

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

1. 新型コロナウイルス感染症拡大及びロシアによるウクライナ侵攻の影響に伴う会計上の見積りについて
前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）に記載した、新型コロナウイルス感染症拡大及びロシアによるウクライナ侵攻による当社グループへの影響に関する仮定について重要な変更はありません。
2. グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用
当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下、「実務対応報告第42号」という。）に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	建材	形材外販	環境	物流	計		
売上高							
カーテンウォール、サッシ、ドア、室内建具、エクステリア製品等	45,123	—	—	—	45,123	—	45,123
アルミ形材、アルミ精密加工品等	—	14,449	—	—	14,449	—	14,449
都市ゴミ焼却施設の飛灰処理設備プラントとそれに伴う薬剤販売、都市ゴミリサイクル施設の設計・製作・工事	—	—	2,004	—	2,004	—	2,004
建材、プラント等の輸送等	—	—	—	1,620	1,620	—	1,620
その他	—	—	—	—	—	14	14
顧客との契約から生じる収益	45,123	14,449	2,004	1,620	63,198	14	63,213
その他の収益	—	—	—	—	—	179	179
外部顧客に対する売上高	45,123	14,449	2,004	1,620	63,198	194	63,392
セグメント間の内部売上高又は振替高	708	4,131	—	1,877	6,718	—	6,718
計	45,831	18,581	2,004	3,498	69,916	194	70,110
セグメント利益又は損失（△）	△306	△361	184	261	△221	94	△127

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」等を含んでおります。

2. その他の収益は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づくリース収益であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△221
「その他」の区分の利益	94
セグメント間取引消去	173
全社費用（注）	△1,202
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△1,156

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位：百万円)

	建材	形材外販	環境	物流	その他 (注)	全社・消去	合計
減損損失	—	—	—	—	—	—	—

(注) 「その他」の金額は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」等に係る金額であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	建材	形材外販	環境	物流	計		
売上高							
カーテンウォール、サッシ、ドア、室内建具、エクステリア製品等	50,262	—	—	—	50,262	—	50,262
アルミ形材、アルミ精密加工品等	—	16,115	—	—	16,115	—	16,115
都市ゴミ焼却施設の飛灰処理設備プラントとそれに伴う薬剤販売、都市ゴミリサイクル施設の設計・製作・工事	—	—	1,753	—	1,753	—	1,753
建材、プラント等の輸送等	—	—	—	1,801	1,801	—	1,801
その他	—	—	—	—	—	19	19
顧客との契約から生じる収益	50,262	16,115	1,753	1,801	69,932	19	69,952
その他の収益	—	—	—	—	—	177	177
外部顧客に対する売上高	50,262	16,115	1,753	1,801	69,932	196	70,129
セグメント間の内部売上高又は振替高	930	5,697	—	1,940	8,567	—	8,567
計	51,192	21,813	1,753	3,741	78,500	196	78,697
セグメント利益又は損失（△）	△911	△555	81	259	△1,125	108	△1,017

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」等を含んでおります。

2. その他の収益は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づくリース収益であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△1,125
「その他」の区分の利益	108
セグメント間取引消去	184
全社費用（注）	△1,259
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△2,093

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位：百万円)

	建材	形材外販	環境	物流	その他 (注)	全社・消去	合計
減損損失	—	—	—	—	—	209	209

(注) 「その他」の金額は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」等に係る金額であります。